

2007 年度 小委員会活動成果報告

(2008 年 2 月 8 日作成)

小委員会名	空間骨組構造小委員会		主 査 名：藤本益美 就任年月：2004 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (シェル・空間構造運営委員会)		委員長名：和田 章 主 査 名：大森博司
設 置 期 間	2004 年 4 月 ~ 2008 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>・初年度：最近の空間骨組構造の座屈と強度についての研究を収集することならびに、仮題「ラチスシェルの座屈と座屈強度」の目次内容の検討を行う。耐震性能小委員会と共同で「空間構造の動的挙動と耐震設計」の出版，原稿について検討する。</p> <p>・2年度：仮題「ラチスシェルの座屈と座屈強度」の各章構成を決定し，執筆担当者に依頼する。耐震性能小委員会に協力をお願いする。耐震性能小委員会と共同で「空間構造の動的挙動と耐震設計」を出版し，講習会を開催する。</p> <p>・3年度：仮題「ラチスシェルの座屈と座屈強度」の各章原稿を執筆者より提出いただき，原稿の修正，査読依頼を行う。耐震性能小委員会に協力をお願いする。</p> <p>・4年度：仮題「ラチスシェルの座屈と座屈強度」を出版し講習会あるいはシンポジウムを開催する。</p>		
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：無 藤本益美(主査，大阪市立大学)，川口健一(幹事，東京大学)，中澤祥二(幹事，豊橋技術科学大学)，植木隆司(巴コーポレーション)，小河利行(東京工業大学)，奥出久人(竹中工務店)，加藤史郎(豊橋技術科学大学)，坂壽二(大阪市立大学)，杉崎健一(サットコンサルタント)，萩原伸幸(大同工業大学)，藤田正則(日鉄住金鋼板)，古川忠稔(名古屋大学)，山田聖志(豊橋技術科学大学)，山田大彦(東北大学)，山本憲司(鹿児島大学)計 15 名		
設置 WG (WG 名：目的)			
2007 年度予算	80,000 円	ホームページ公開の有無： 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	4 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	1. 第 6 回 新「シェル・空間構造」セミナー - 空間骨組構造の変遷と将来の方向 - 参加者数 116 名 (資料名) 同上
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 仮題「ラチスシェルの座屈と座屈強度」は，目次に従い執筆ならびに編集作業を進めている。 2. 第 6 回 新「シェル・空間構造」セミナーを開催し，空間骨組構造に関する現状・研究成果を学生，技術者に提供した。
委員会活動の問題点・課題	1. 出版編集作業の進め方